

横浜環状北西線工事現場で防災訓練を行います！

～ 3.11 東日本大震災を教訓にして ～

横浜環状北西線は、東京2020オリンピック・パラリンピックまでの開通を目指して、事業を進めており、全地区で工事の最盛期を迎えています。

このたび、北西線工事現場では、各地に甚大な被害をもたらした3.11東日本大震災から7年目を迎え、いつ起こるか分からない地震などの災害に備えた工事現場の防災訓練を行います。

特にシールドトンネル工事は、大規模な工事であり、工事関係従事者も多いことから、消防局緑消防署と連携した防災訓練を実施します。

防災訓練概要(シールドトンネル工事)

【日時】

平成30年3月27日(火) 14:30～16:00

【場所】

横浜環状北西線シールドトンネル建設工事現場
(横浜市緑区北八朔町 218-7)

【参加者】

(本市) 道路局横浜環状北西線建設課

消防局緑消防署

(施工者) 安藤ハザマ・岩田地崎・土志田・

宮本土木建設共同企業体



シールドトンネル坑内の状況

【訓練内容】

「首都直下地震(M7.3)」を想定し、工事現場での初動対応等の訓練を実施します。

- (1) 避難訓練及び情報受伝達訓練
- (2) トンネル内の火災を想定した消火活動(消防車3台)
- (3) 応急救護訓練及び初期消火訓練

訓練会場案内図



取材について

- (1) 取材していただける場合は、訓練当日の14時15分までに、「安藤ハザマJV事務所 2階」へお越してください。(東急バスバス停「寒谷戸」から徒歩5分、市営地下鉄グリーンライン「川和町駅」から徒歩25分)
- (2) 災害の発生や天候等により、訓練を中止または一部縮小する場合があります。中止の可否については、お問合せ先までご連絡ください。事前に取材の申込をいただいた場合は、こちらからご連絡いたします。

お問合せ先

道路局横浜環状北西線建設課 施工管理担当課長 谷津 毅 Tel 045-948-6652